

第7回 2025年デフリンピック大会に係る 大会準備連携会議

議事次第

日時：令和6年3月26日 11:00～

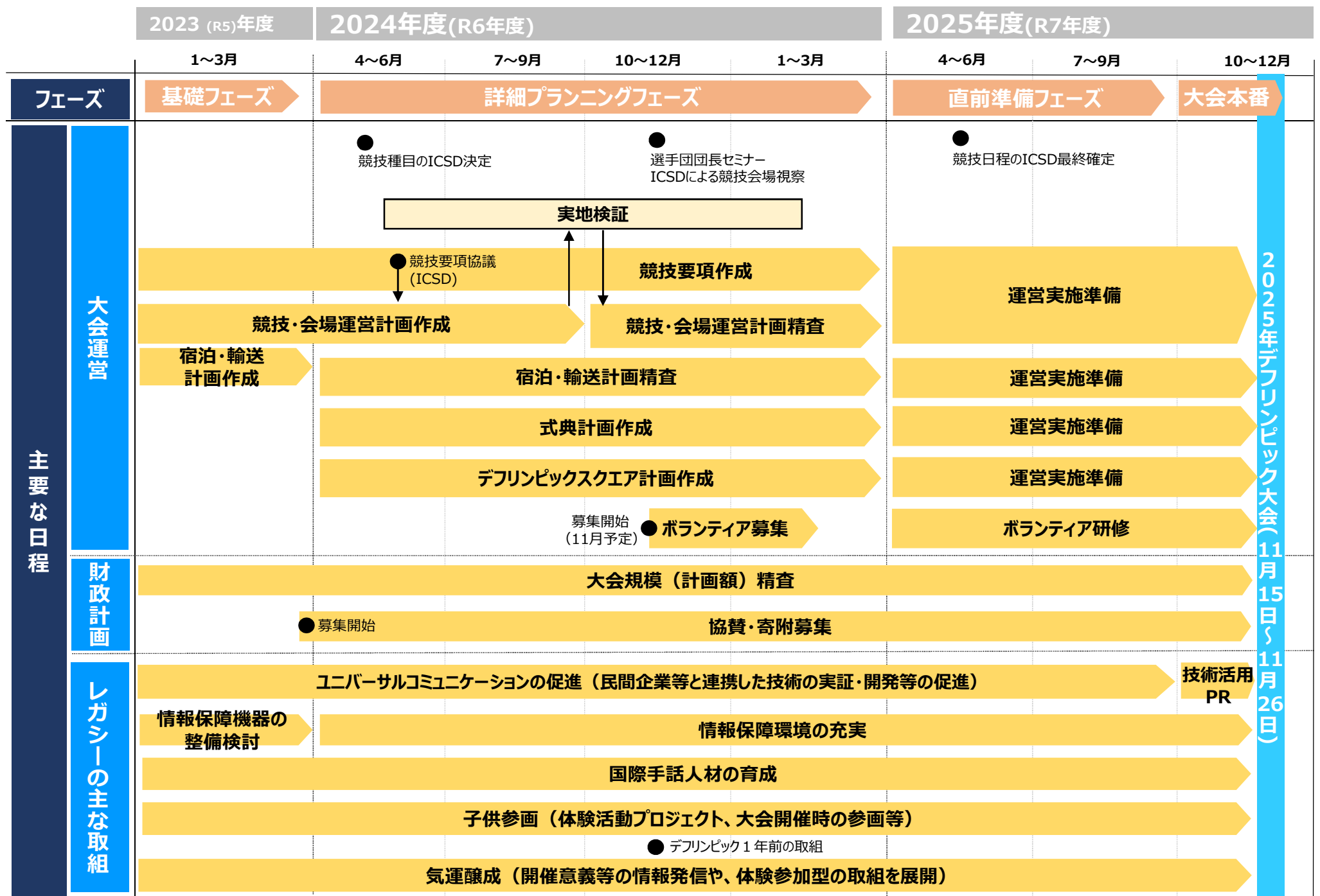
場所：東京都庁第一本庁舎 42階

特別会議室 B

1. 挨拶
2. 東京 2025 デフリンピック ロードマップ
3. 東京 2025 デフリンピックに係る寄附・協賛について
4. デフリンピック運営委員会における取組
5. 「ビジョン 2025 アクションブック」について
6. 意見交換

東京2025デフリンピック ロードマップ

2024年 3月時点



2025年デフリンピック大会(11月15日~11月26日)

デフリンピック準備運営本部における令和6年度事業計画(案) (東京都スポーツ文化事業団)

【R6事業計画】

大会準備業務

- 令和5年度に策定した開催基本計画の考え方にに基づき、施設利用調整や輸送、競技・会場等のオペレーション、管理・広報等の各種準備・調整を着実に進める。
 - ・ 施設利用調整等（仮設整備や施設使用に係る検討・調整等）
 - ・ 輸送等（競技会場等までの輸送、警備に係る検討等）
 - ・ オペレーション（大会運営に係る計画の策定、各種会議の開催、競技・会場運営の準備、式典の計画、宿泊施設の提供に係る準備、出入国調整、ボランティアの配置・運用等に係る準備等）
 - ・ 管理・広報（大会情報の発信、大会収入に係る企画・実施、事務局の運営等）

ガバナンス体制の確保

- 国や都の指針・ガイドラインを踏まえ、国際スポーツ大会の運営組織として構築したガバナンス体制のもと、各種取組を確実に実施する。
 - ・ デフリンピック準備運営本部におけるコンプライアンス委員会の開催、継続的なコンプライアンス教育の実施
 - ・ 利益相反マネジメントポリシーの運用及び利益相反マネジメント委員会の開催
 - ・ 契約・調達管理会議への契約案件付議
 - ・ 内部通報窓口、懲戒処分審査体制の運用、三様監査の継続的な実施

デフリンピック運営委員会における2024年度事業計画（全日本ろうあ連盟）

大会準備業務

- 大会開催に向け、多方面との調整等
 - ・ ICSDや関係団体等との調整、連携
 - ・ 全国の気運醸成イベントの検討、推進
 - ・ 社会的・文化的プログラムの作成、公表
 - ・ 寄附の受入れ
 - ・ 大会情報の発信（国外・国内）

適切なガバナンス確保や継続したコンプライアンス確保

- 都のガイドライン等、大会運営組織のガバナンスセルフチェックリストを踏まえ、ガバナンスやコンプライアンスの継続した確保
 - ・ コンプライアンス推進にかかる基本方針やコンプライアンス推進計画等に基づく、役職員等向けコンプライアンス研修の実施
 - ・ 契約調達管理会議への契約・調達案件付議、大会専用の会計の設置・運用
 - ・ 内部監査・監事・外部監査人が密に連携した三様監査体制を構築し、監査機能を強化、情報共有等の実施
 - ・ 利益相反管理委員会において、役職員等の利益相反管理の遵守状況の確認、必要に応じた調査の実施



【プレスリリース】

報道関係者各位

令和6年3月22日

(公財)東京都スポーツ文化事業団

東京2025デフリンピックの開催に向けた 寄附・協賛の募集を開始します！

当事業団デフリンピック準備運営本部では、東京2025デフリンピックの成功に向けて一般財団法人全日本ろうあ連盟、東京都と連携し、大会の準備及び運営を進めております。

昨年11月には、大会の成功や大会後のレガシー構築に向けた準備を確実に進めていくため、「開催基本計画」を策定いたしました。この開催基本計画では、大会の開催を契機にデフリンピックやデフスポーツへの理解のすそ野を広げ、障害のあるなしにかかわらず、共にスポーツを楽しみ、互いの違いを認め、尊重しあう共生社会づくりに貢献していくことを掲げております。多くの人々に大会開催の趣旨にご賛同いただき、より多くの人々が参画し、みんなで力をあわせて大会を創っていきたいと考えております。

このため、寄附では、都民のみなさまがアクセスしやすいよう仕組みを工夫していくとともに、協賛では、大会全体だけでなく、各競技への支援も募るなど企業等のニーズに合わせた参画しやすい方法で、以下のとおり募集を開始いたしますので、お知らせいたします。

当事業団とともに、東京2025デフリンピックを盛り上げ、デフスポーツの楽しさ・素晴らしさ、開催地である東京の魅力などを広めていただけるみなさまからの、温かいご支援をお待ちしております。

寄附の概要

1 募集対象

個人、企業・団体等

2 寄附の方法

(1) 銀行振込

ホームページ等に掲載する「申出書」に必要事項をご記入・ご提出いただいたのち、以下の銀行口座（みずほ銀行またはゆうちょ銀行）に直接お振込みいただけます。

みずほ銀行：東京都庁出張所（店番号 777） 普通 3010824 口座名：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 デフリンピック準備運営本部 寄付協賛口
ゆうちょ銀行：019支店（店番号 019） 当座 393352 口座名：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

(2) クラウドファンディング

詳細が決まりましたらお知らせいたします。

※ 当事業団へのご寄附については、税制優遇の対象となります。ただし、申出書を必ずご提出ください。



協賛の概要

1 協賛のカテゴリ

(1) 東京 2025 デフリンピック・トータルサポートメンバー

本大会の準備、運営等の全体をサポートすることを目的として、デフリンピック準備運営本部に対し協賛金、物品、役務等を提供又は貸与する企業・団体等

(2) 東京 2025 デフリンピック・ゲームズサポートメンバー

本大会の準備、運営等のうち、特定の競技をサポートすることを目的として、デフリンピック準備運営本部に対し協賛金、物品、役務等を提供又は貸与する企業・団体等

制度詳細等

寄附・協賛の制度詳細は、デフリンピック準備運営本部ホームページをご覧ください。

<https://deaflympics2025-games.jp/participation/support/>



(参考) 大会概要

大会名称	第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025
大会期間	2025 年 11 月 15 日～11 月 26 日 (12 日間)
参加者数	各国選手団等約 6,000 人
参加国	70～80 か国・地域
大会会場・施設	競技会場、開閉会式会場、練習会場、デフリンピックスクエア等
大会ビジョン	1 デフスポーツの魅力や価値を伝え、人々や社会とつなぐ 2 世界に、そして未来につながる大会へ 3 “誰もが個性を活かし力を発揮できる” 共生社会の実現

(公財) 東京都スポーツ文化事業団とは

東京都スポーツ文化事業団は、都民の皆様のスポーツの普及・振興を図ることを目的として設立されている公益財団法人です。

現在、東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館及び東京アクアティクスセンターの 4 つの都立スポーツ施設の運営を担っており、各施設において様々なスポーツイベントを展開しています。

また、東京のスポーツ情報ポータルサイト「SPOPITA」を運営し、都内のスポーツ施設やイベント情報など幅広いコンテンツを発信するとともに、スポーツ国際交流事業、都立スポーツ施設連携促進事業など、東京都と連携した事業も実施しており、都民の皆様のスポーツを通じた豊かな生活を実現するために活動を進めています。

さらに、東京で 2025 年に開催予定のデフリンピック大会について、今年度より当事業団としても準備業務を担うことになりました。

今後も東京都のスポーツ行政の中核を担う団体として、

スポーツが日常に溶け込んだ「スポーツフィールド・東京」の実現を目指し、

誰もがスポーツに親しむことができる環境の整備や効果的なスポーツムーブメントの醸成に努めてまいります。

【関連リンク】

■公式 HP : <https://www.tef.or.jp/index.html>

■公式 X (旧 Twitter) アカウント (@TokyoSportBC) : <https://twitter.com/TokyoSportBC>

■公式 Instagram アカウント (tokyosportbc) : <https://www.instagram.com/tokyosportbc/>

■東京のスポーツ案内サイト「SPOPITA」 <https://spopita.jp>



マスクットキャラクター「SUSIE (スージー)」

デフリンピック運営委員会における取組 ～デフリンピック・フェスティバルについて～

○2023年度に実施するデフリンピックの気運醸成に資する取組みに対し、10万円を限度として助成

○対象とする経費

諸謝金、旅費、借損料、印刷製本費、消耗品費、通信運搬費、雑役務費、保険料、委託料

○全国8ブロックで、各1か所実施

○助成要件、対象経費等については、第3回運営委員会で報告済み

○2023年度に実施した取組に対する決算状況は、次回運営委員会にて報告予定

	前回報告（2023.11）	現在状況（詳細は次頁）	事業実施・予定日
北海道	開催内容承認済	事業実施済	2023年11月3日（祝）
東北	開催内容承認済	事業実施済	2023年11月12日（日）
関東	候補地：神奈川県 申請準備中	開催地：神奈川県 開催承認済	2024年3月20日（祝）
東海	開催内容承認済	事業実施済	2023年10月22日（日）
北信越	候補地：石川県 申請準備中	開催地：石川県 申請準備中	調整中
近畿	開催地：大阪 申請準備中	開催内容承認済	2024年3月20日（祝）
中国・四国	候補地：鳥取県 申請準備中	開催地：鳥取県 開催承認済	2024年3月23日（土）
九州	開催内容承認済	事業実施済	2023年11月5日（日）

申請状況等一覧

ブロック	開催地	状況	開催規模、内容	主催者・連携先
①北海道ブロック 札幌市（北海道） デフリンピック・フェスティバル inほっかいどう		開催済	○11月3日（祝） ○会場：東区民センター ○参加者：市民101名 ○内容：啓発映画上映、講演、パネルディスカッション（パラリンピアン、デフリンピアン）	公益社団法人北海道ろうあ連盟 ○後援・協力：北海道、北海道教委 育委員会、北海道障がい者スポーツ協会、デフ競技団体等
②東北ブロック いわき市（福島県） デフリンピック・フェスティバル		開催済	○11月12日（日） ○会場：いわきFCパーク ○参加者：小学生32名 ○内容：手話講座	一般社団法人福島県聴覚障害者協会 ○共催：福島県 ○協力：いわきFC、日本ろう者サッカー協会、日本ブラインドサッカー協会
③関東ブロック 横浜市（神奈川県） デフリンピック・フェスティバル		承認済	○3月20日（祝） ○会場：新都市プラザ ○対象：市民 ○予算：10万円 ○内容：アスリートトークショー、手話講座、UDダンス、PRブース	神奈川県聴覚障害者連盟 ○共催：神奈川県
④東海ブロック 伊豆市（静岡県） デフリンピック・フェスティバル in東海		開催済	○10月22日（日） ○会場：サイクルスポーツセンター ○対象：ジャパンマウンテンバイクカップ 2023観客（想定数2500名） ○内容：デフリンピック啓発ブース、自転車競技写真展、PRグッズ配布	東海聴覚障害者連盟 ○主管：静岡県聴覚障害者協会 ○連携：ジャパンマウンテンバイク カップ実行委員会（共催：静岡県、 協力静岡県聴覚障害者協会等）

申請状況等一覧

ブロック	開催地	状況	開催規模、内容	主催者・連携先
⑤北信越ブロック 石川県（予定）		開催の方向で県と調整中		
⑥近畿ブロック 大阪市（大阪府） デフリンピック・フェスティバル inおおさか		承認済	<ul style="list-style-type: none"> ○3月20日（祝） ○会場：大阪市立鶴見区民センター ○対象：近畿6府県の市民500名 ○予算：100万円 ○内容：デフアスリート紹介、デフリンピッククイズ、記念講演 	近畿ろうあ連盟 ○主管：大阪聴力障害者協会
⑦中・四国ブロック 境港市（鳥取県） デフリンピック・フェスティバル in鳥取		承認済	<ul style="list-style-type: none"> ○3月23日（土） ○会場：境港市民交流センター ○対象：市民 ○予算：11万円 ○内容：啓発映画上映、パネルディスカッション、ミニ手話講座、2025デフリンピック大会PR及び決意表明 	鳥取県聴覚障害者協会 ○共催：鳥取県、境港市 ○後援・協力：鳥取県議会、境港市議会、鳥取県教育委員会、境港市教育委員会、鳥取県社会福祉協議会、境港市社会福祉協議会、中国地区ろうあ連盟、四国ろうあ連盟、等
⑧九州ブロック 春日市（福岡県） デフリンピック・フェスティバル in九州		開催済	<ul style="list-style-type: none"> ○11月5日（日） ○会場：クローバープラザ ○参加者：市民160名 ○内容：啓発映画上映、講演（デフアスリート）、デフアスリート交流・体験会 	社会福祉法人福岡県聴覚障害者協会 ○主管：福岡県ろうあ者スポーツ委員会 ○後援・協力：福岡県、九州聴覚障害者団体連合会

世界陸上・デフリンピック ビジョン2025 アクションブック (概要版)

- ◆世界陸上・デフリンピックのような国際スポーツ大会は、子供たちの夢と希望の育み、ウェルネスの向上、共生社会に向けた歩みの加速など、**大きな価値**をもたらします。
- ◆こうした意義を持つ両大会に向けて、**スポーツの力で東京の新たな未来を切り拓いていく**ため、令和5年2月に、両大会を通じて都が目指す姿を「ビジョン2025」としてまとめました。
- ◆本書は、この「ビジョン2025」で掲げた「**全ての人**が輝く**インクルーシブな街・東京**」の**実現に貢献**するという目標に向かって、両大会を通じて取り組んでいく方向性や、主な内容などをまとめた指針となります。

アクションブックのポイント

3つのConcept

- ◆**東京2020大会のレガシー**を継承・発展
- ◆両大会一体となって
ウェルネスの向上や社会変革を推進
- ◆2025年を機に、東京に**新たなレガシー**を創出



Sports プロジェクト – 両大会を機にウェルネスを向上

【スポーツの価値を再認識】 – 推しスポーツProjectの展開

+

10

のAction – 両大会を社会変革の推進力に

【みんながつながる】 – ユニバーサルコミュニケーションの促進

- ①大事な情報、伝える工夫 ②デジタルで拓く東京の未来

【世界の人々が 出会う】 – 「TOKYO」の魅力発信

- ③芸術文化に触れ、感じる ④世界に東京の魅力をPR

【子どもたちが 夢をみる】 – 子供たちの大会への参画

- ⑤2025 for キッズ ⑥2025 with キッズ

【未来へつなぐ】 – 持続可能性の取組

- ⑦みんなで守る、みんなの環境 ⑧共に生きる未来を創る

【みんなで 創る】 – 力を合わせて大会を形作る

- ⑨Make it together 2025 ⑩知って、楽しんで、応援しよう！

Sportsプロジェクトの概要

TOKYO FORWARD 2025

推しスポーツ Project

- ◆両大会は、スポーツへの関心を高め、**スポーツの価値を再認識**する好機
- ◆東京全体をフィールドとして、様々なスポーツに親しむ機会を創出
- ◆スポーツの魅力に触れる中で、各人の好みや特性に合った「**推しスポーツ**」を発見

「推しスポーツ」の発見・実施を後押しする 3つの取組

《東京スポーツドック》

体力診断で自身の体力や健康状態を知ってもらい、適性に沿った運動計画などを提供

《Let's play it!》

プロスポーツチームや区市町村などと連携し、一人ひとりにとって「初めての競技体験」への参加を支援

《キッズアスリートプログラム》

陸上トップアスリートなどとの交流や、子供（親子）向け陸上教室などを展開

10のActionの主な内容

「ビジョン2025」における5つの柱の下に、様々なActionを設定

みんなが
つながる

- ①東京2020大会で使用された技術の活用や、**都立スポーツ施設のアクセシビリティ設備整備**を推進
- ②民間企業等と連携した**技術開発**などユニバーサルコミュニケーション（UC）技術の社会実装を促進



世界の
人々が出会う

- ③2025年に向けた**アートプロジェクトの展開**や、**芸術文化へのアクセシビリティ向上**への取組を実施
- ④大会関連イベントでの**東京産食材の活用**や、大会1年前の機を捉えた**観光プロモーション**を展開



子ども
たちが
夢をみる

- ⑤アスリートと子供の交流会や、手話通訳士などを招いた**特別支援学校での特別授業**を実施
- ⑥大会ロゴや大会エンブレムの**デザイン**、選手入場時の**エスコートキッズ**など大会に子供たちが参画



未来へ
つなぐ

- ⑦**省エネの徹底**、**再生可能エネルギーの活用**及び**3Rの取組**に加え、**大会の暑さ対策**に向けた調査などを実施
- ⑧東京2025デフリンピック応援**アンバサダー**や、**デフリンピック学習ハンドブック**を通じ、共生社会の大切さを発信

みんな
で
創る

- ⑨多様な人が**ボランティア**として活躍できる機会の提供や**デフアスリートへの支援**などを通じ、様々な人と一緒に大会を創っていく
- ⑩大会1年前の節目の**気運醸成イベント**や**パラスポーツの振興とバリアフリー推進**に向けた懇談会と連携し、大会への関心を喚起